

平成 24 年度 日野市立図書館の

運営の状況に関する評価書

(平成 23 年度事業)

くらしの中に図書館を

—市民に役立ち、共に歩む図書館—

平成 24 年 9 月

日野市立図書館

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	評価の目的・・・・・・・・	1
3	図書館の現状・・・・・・・・	1
	(1) 施設・・・・・・・・	1
	(2) 組織・職員・・・・・・・・	2
	(3) 主な業務・・・・・・・・	2
4	評価の方法・・・・・・・・	2
5	評価の対象事業・・・・・・・・	2
6	評価の結果・・・・・・・・	3
7	評価表	
	事業No.1 児童・青少年サービス・・・・・・・・	4
	事業No.2 成人・高齢者サービス・・・・・・・・	6
	事業No.3 障害者サービス・・・・・・・・	8
	事業No.4 資料の選択・収集・提供・・・・・・・・	10
	事業No.5 施設の改修・・・・・・・・	12
	事業No.6 関係機関との連携・協力・・・・・・・・	14
	事業No.7 各館での取り組み・・・・・・・・	16
参考資料	人口が同レベルの国内の市立図書館と日野市立図書館の 数値の比較・・・・・・・・	19
	日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱・・・・・・・・	20
	図書館協議会委員名簿・・・・・・・・	21

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること。また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その、評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設 ※平成 24 年 4 月現在

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書規模
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48. 4. 28	豊田 2-49-2	253 千冊
移動図書館	1 台 (20 駐車場)	昭和 40. 9. 21	同上	28 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55. 5. 11	三沢 4-1-12	88 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55. 5. 18	日野本町 7-5-14	51 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16. 4. 1	多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 1 階	105 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20. 4. 5	平山 5-18-2 平山季重ふれあい館 1 階	50 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52. 12. 1	神明 1-12-1 日野市役所 1 階	41 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2. 11. 16	百草 204-1 ガーデンビュー石神 D2 階	68 千冊

- (2) 組織・職員 ※平成 24 年 4 月現在
1 課 3 係 (庶務・業務・奉仕)、6 分館
正規職員 40 人 (うち司書 28 人)、
再任用職員 (うち司書 1 人)・嘱託職員・臨時職員
(週 30 時間換算) 32.3 人

(3) 主な業務

- ・ 図書館資料の収集、整理及び保存
- ・ 個人貸出、団体貸出
- ・ 読書案内及び読書相談
- ・ レファレンス
- ・ 読書会、研究会、講習会、鑑賞会、映写会、展示会等の主催及び奨励
- ・ 館報その他の読書資料の発行及び頒布
- ・ 図書館資料の図書館間相互貸借
- ・ 市内の学校図書館への資料提供と協力
- ・ 地方行政資料の収集及び提供

4 評価の方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、事業の説明会を実施しました。それに対し図書館協議会委員の評価・意見をいただきました。

5 評価の対象事業

「日野市立図書館基本計画」の重点的な取り組みや文部科学省が提示する「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準 平成 13 年 7 月 18 日文部科学省告示」(以下「望ましい基準」と略)から抽出した、下記取組事業について評価を行うこととします。

- ① すべての利用者への基本的なサービスの一層の向上を図ります
(児童・青少年サービス)
- ② すべての利用者への基本的なサービスの一層の向上を図ります
(成人・高齢者サービス)
- ③ すべての利用者への基本的なサービスの一層の向上を図ります (障害者サービス)
- ④ 資料の選択・収集及び資料提供を核とする図書館の基本を大切にします
- ⑤ 時代に合わせて既存施設の改修を進めます

- ⑥ 関係機関との連携・協力の強化を図ります
- ⑦ 各館での取り組み

6 評価の結果

自己評価は、事業No.5（施設の改修）を除き、概ね効果・効率が良く、拡大・充実していくとしています。協議会委員評価も、事業No.5（施設の改修）は、老朽化した施設・設備の十分な改修・修繕や耐震診断等が行なわれておらず、多くの市民の安全安心面で不安があるとするものの、全体として幅広い事業での取り組みは、概ね良いものでした。

今後はこの評価や意見を基に、23年度の成果をあげた取り組みを継続するとともに、今後の課題の解決に取り組んでいきます。

図書館の自己評価及び図書館協議会からいただいた評価・意見は、4ページ以降の評価表1～7のとおりです。

図書館事業評価表

23年度

事業No 1

1. 取組事業名

取組事業名 (図書館基本計画から)	すべての利用者への基本的サービスの一層の向上を図ります (児童青少年サービス)	事業開始年度	昭和 40 年度
----------------------	--	--------	----------------

2. 取組事業の概要

事業の内容	<p>「図書館基本計画」「日野市子ども読書活動推進計画」に基づきサービス、資料の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児サービス ①乳幼児が本を手にとったり、読んだりしやすいよう工夫する。②乳幼児が集まる施設ではおはなし会の開催がスムーズに行われるよう図書館員がサポートする。③保育園・幼稚園への団体貸出を拡充する。④保護者・保育関係者からの読書に関する相談の受け付けや講座等を充実する。 ・児童サービス ①児童の調べものに必要な資料を整える。特に、地域について調べる資料を図書館が作成する②児童への読み聞かせなど、子どもの読書にかかわる活動を引き続き支援する。③日本語を母語としない児童、海外帰国児童に外国語資料を提供する。 ・青少年へのサービス ①図書コーナーを設け資料を充実させる。②青少年がコーナーの運営に関わる機会を設ける。③資料・情報提供により、青少年の就業を支援する。
-------	---

事業目的	児童の読書離れが進む(児童登録率の低下)一方で児童図書の貸出冊数は増加。読む人は、一層多読となり、読まない人は全く読まないといった二極化を呈している。今後は更に、学校、児童関連施設、地域などと連携した子どもの読書活動を拡充させる。
------	---

23年度の事業目標	<p>第2次日野市子ども読書活動推進計画の推進</p> <p>①児童図書を充実させ貸出冊数を増やす ②中央・高幡・多摩平・百草図書館での「おはなし会」開催 ③子どもの読書に関する講座・講演会の開催(読み聞かせ入門講座を含む) ④図書リスト(乳幼児向け・児童向け・青少年向け)の発行 ⑤日野宿発見隊こども発見隊事業を行う ⑥学校搬送便・子育て施設への配本サービスの拡大・充実 ⑦中学生の職業体験学習・図書館実習生の受け入れ ⑧ヤングスタッフ事業を行う ⑨要望に応じて出張おはなし会・小学校向け図書館ガイダンスを行う ⑩夏休みジュニアスタッフ事業を行う</p>
-----------	--

23年度の事業成果	<p>①児童図書の充実…年間受入冊数8,101冊 年間除籍冊数5,090冊 蔵書冊数153,965冊 児童図書・雑誌の貸出471,867冊 移動図書館車による団体貸出19,191冊 ②「おはなし会」…89回のべ1,792人 ③子どもの読書に関する講座・講演会…7回参加人数総計184人 ④図書リストの発行…乳幼児向け1回2種各500部 児童向け1回 500部 青少年向け5回7種2,450部 ⑤日野宿こども発見隊…2回延べ289人 ⑥学校搬送業務 延べ221回10,038冊 保育園幼稚園への配本延べ38回2,540冊(健康課・子ども家庭支援センターへ配本開始) ⑦職場体験学習7校17回51人 図書館実習生3大学4人 ⑧ヤングスタッフによる本の紹介イベント「BOOKパレード」の開催3回参加人数30人 ⑨出張おはなし会22回 図書館ガイダンス16校 ⑩夏休みジュニアスタッフ事業…実施日数4日参加人数延べ32人</p>
-----------	--

事業の課題・問題	現在行っている「調べ学習」に対応した学校搬送による図書の貸し出しに加え、小中学校の読書活動を側面から支える事業として各学年に対応した「よみもの」を中心とした図書のセット貸出しの実施に向け、予算措置も念頭に入れ準備を進める。
----------	---

3. 事業費(人件費を除く)(円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費	31,097,276	26,242,817	25,787,838
内訳	嘱託職員報酬 図書費(児童書) 学校図書館支援事業経費 子ども読書活動推進支援経費 第2次日野市子ども読書活動推進計画事業費		

4. 活動指標

活動指標Ⅰ	区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)	
児童図書 個人貸出数	目標値 (A1)	冊	448,800	459,781	470,000	22年度へ-ス	2.2%
	実績値 (B1)	冊	448,567	466,541	471,868	22年度へ-ス	1.1%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	100	101	100		

活動指標Ⅱ	区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)	
児童登録率	目標値 (A2)	%	25.52	25.52	25.52	22年度へ-ス	0.0%
	実績値 (B2)	%	24.23	25.31	23.34	22年度へ-ス	-7.8%
達成度 (C2=B2/A2×100)		%	95	99	91		

5. 自己評価

自己評価	事業目的に対する効果	<input type="checkbox"/> 非常に大きな効果があった <input type="checkbox"/> 限定的な効果があった	<input checked="" type="checkbox"/> 大きな効果があった <input type="checkbox"/> 効果がなかった
	事業の効率性	<input type="checkbox"/> 非常に効率が良い <input type="checkbox"/> やや効率が悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 効率が良い <input type="checkbox"/> 効率が悪い
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 維持・継続	<input type="checkbox"/> 見直して拡大・充実 <input type="checkbox"/> 見直し
	評価意見等	<p>の仕事を従事する方を対象とした「手袋人形」、小学生とその保護者を対象とした「科学遊び」の各講演会を実施し、本と子どもを結びつける様々な手段について市民に伝えることができ、大変好評を得た。</p> <p>②PTAの依頼により小学校2校に「読み聞かせ入門講座」の出張を行った。参加は約30名。保護者を対象に、実技を中心とした基本をお話した。</p> <p>③今年度より健康課、子ども家庭支援センターへの配本を開始。乳幼児健診時に待合に配本を並べ、気軽に本を手にとっていただくことができるようになった。併せて絵本リストを作成し、来場者全員に配布した。子ども家庭支援センターでは来所者に配本の貸出も行っており、それぞれの場で有効な活用が図られている。</p> <p>④日野宿子ども発見隊事業では(1)町の大切な遺産である日野用水を身近な存在として理解してもらおうと、毎年「用水で遊ぼう」に取り組み、川遊びの楽しさに加え、図書館資料を活用し、子どもたちの知識の幅を広げた。(2)昔遊びなどを中心とした「ふれあい子ども横丁」は、核家族の子どもたちにとっても、地域の年配者との交流を深めるとともに、郷土への関心を高める一助となった。</p>	
次年度以降の取組み	<p>子どもたちの読書活動を図書館が中心となって推進し、計画の進捗状況を把握する。</p> <p>②子ども読書活動推進事業の講演会予算はなくなったが、今まで業務上得た知識を活用して職員自らが講師を務める講演会を企画する。</p> <p>③学校搬送業務は、調べ学習用図書の充実を図り、学校における読書活動や調べ学習のための相談に応じ、学校への支援をいっそう推進する。</p> <p>④各学年に対応した「よみもの」を中心とした図書のセット貸出を学校搬送便により実施し、小中学校の読書活動支援を推進する。</p>		

6. 図書館協議会評価・意見

評価	<p>①「日野市子ども読書活動推進計画」に基き、多岐にわたる施策が着実に実行され、成果を上げている。結果として児童図書の貸出総数も増加しており評価できる。</p> <p>②公共図書館の役割として、子どもの周囲にいる保育者、教員や保護者に対して働きかけ、本と子どもをつなぐ場と機会を拡充することが大事である。その取組みを評価し、さらなる推進を期待する。</p> <p>③青少年自身が活動する「ヤングスタッフ」事業が定着してきており、今後が期待できる。</p> <p>④日野宿子ども発見隊事業も日野市立図書館ならではの活動として評価する。</p>
意見	<p>①中子生の読書活動推進の取組みにおいて、中子校との連携を進めていくべきである。中学校の学校図書館の実態を把握し、読書案内等に図書館職員等を派遣するなど検討してほしい。</p> <p>②図書館内にPOP(ポップ)を掲示するなど、気軽に読んでもらえるような環境づくりを進めてほしい。</p> <p>③図書館の施策やサービスが周知されるよう、広報でもっとアピールしてほしい。</p> <p>④「調べ学習」「よみもの」図書の学校への貸し出しは、学校図書館との緊密な連携のもとに実施し、学校図書館そのものの活性化につながるように留意してほしい。</p> <p>⑤事業目標が数値化されておらず、成果が評価できない。活動指標も目標設定根拠が不明で、達成度が良好か否か判断できない。次年度以降の評価の方法等については見直しが望ましい。</p>

図書館事業評価表

23年度

事業No 7

取組事業名

取組事業名 (図書館基本計画から)	各館での取り組み	事業開始年度	昭和 40 年度
----------------------	----------	--------	----------------

1. 中央図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績							
区分	活動指標	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)	
個人貸出数	目標値 (A1)	冊	363,470	352,307	346,765	22年度へ-ス	-2%
	実績値 (B1)	冊	343,714	338,307	327,173	22年度へ-ス	-3%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	95	96	94		
23年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)				23年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)			
①高齢者や介護・医療分野の資料を充実させ、展示を行い情報提供する。 ②掲示物のレイアウトや掲示方法を見直し、利用案内や節電対策等のお知らせを利用者にわかりやすく伝える。				「フの楽しみ方」をテーマに展示を行った。 ②掲示物の文字サイズを大きくしたり、節電の成果を数値化するなど、利用者にわかりやすく伝える工夫を行った。			

2. 高幡図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績							
区分	活動指標	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)	
個人貸出数	目標値 (A1)	冊	338,350	334,263	340,419	22年度へ-ス	2%
	実績値 (B1)	冊	326,110	332,116	330,007	22年度へ-ス	-1%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	96	99	97		
23年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)				23年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)			
①ヤングスタッフ事業を通じて、青少年に向けての読書活動を行う ②ヤングコーナーを図書館の中心部に設置し、スタッフによる推薦図書やテーマ別の展示を年間を通じて行う。				①ヤングスタッフが中学生に向け図書の紹介をする「ブックパレード」というイベントを多摩平児童館、高幡図書館に於いて開催した。のべ25名のヤングスタッフが係わり計3回開催。のべ30名の参加があった。 ②図書企画展示を5回開催するとともに、お薦め図書リストを4回、作家別リスト3種を発行し市内高校・大学にも配布した。			

3. 日野図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績							
区分	活動指標	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)	
個人貸出数	目標値 (A1)	冊	244,730	246,555	253,822	22年度へ-ス	3%
	実績値 (B1)	冊	240,541	247,631	254,828	22年度へ-ス	3%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	98	100	100		
23年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)				23年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)			
①日野宿発見隊による写真集「まちかど写真館 in ひの」第二集の刊行 ②児童の利用者数の増加のために、人気児童書への買い替え促進				①日野宿発見隊企画・編集による写真集「まちかど写真館 in ひの」第二集を1,000部刊行(翌年度より一般頒布) ②乳幼児向け絵本や調べ学習用を含めた児童書を拡充			

4. 多摩平図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績

区分	活動指標	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)
個人貸出数	目標値 (A1)	冊	468,060	484,172	487,875	22年度へ-ス 1%
	実績値 (B1)	冊	472,363	475,976	480,119	22年度へ-ス 1%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	101	98	98	

23年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)

- ①利用者にとって、より探しやすくなるように、実用書の書架構成を再検討する。
- ②利用者の滞在環境が、より快適なものになるように努める。

23年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)

- ①実用書のT1分類の所をテーマからより探しやすくなるように、テーマの項目を増やして分類した。
- ②館内を巡回して、節電に配慮しながら、空調とエアコンを交互にうまく使用するなどして、滞在環境の向上を図った。

5. 平山図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績

区分	活動指標	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)
個人貸出数	目標値 (A1)	冊	145,700	151,942	154,744	22年度へ-ス 2%
	実績値 (B1)	冊	148,236	150,970	150,310	22年度へ-ス 0%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	102	99	97	

23年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)

- ①詳細な書架案内図の作成・掲示等、見易い館内案内表示の工夫と掲示。
- ②ミラーによるカウンター之死角改善と、カウンターの有効利用の促進。

23年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)

- ①館内案内表示を改善し、わかりやすくなった。
- ②ミラーを取り付けてカウンターの死角を改善し、サービスの向上につながった。

6. 百草図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績

区分	活動指標	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)
個人貸出数	目標値 (A1)	冊	139,110	143,832	142,458	22年度へ-ス -1%
	実績値 (B1)	冊	140,324	138,983	137,262	22年度へ-ス -1%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	101	97	96	

23年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)

- ①書架案内図を更新する。
- ②配布できる書架案内図を作成する。

23年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)

- ①書架表示を細かく表示し、わかりやすくした。
- ②配布できる書架案内図は未作成。

7. 市政図書室

活動指標(アウトプット)目標・実績

区分	活動指標	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)
個人貸出数	目標値 (A1)	冊	15,000	15,685	16,597	22年度へ-ス 6%
	実績値 (B1)	冊	15,302	16,192	18,775	22年度へ-ス 16%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	102	103	113	

23年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)

- ①新聞記事索引作成マニュアル
- ②日野市発行資料の電子版の保存方法の検討

23年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)

- ①購入を停止した加除式資料の整理を行った。
- ②新聞記事索引作成マニュアルの検討を行った。
- ③近隣市の行政資料の電子化の把握を行った (日野市は4月にHPリニューアル)。

8. 移動図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績

区分	活動指標	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比較 (%)	
資料貸出数	目標値 (A1)	冊	21,440	24,424	23,809	22年度へ-ス	-3%
	実績値 (B1)	冊	23,828	23,228	23,008	22年度へ-ス	-1%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	111	95	97		

23年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)

- ①図書館PRのため、移動図書館車でイベント等に参加し、図書館利用を促す。
- ②BM書庫の配置換え等を行い、使いやすくする。

23年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)

- ①産業まつりに2日間参加し、図書を245冊貸出し、図書館および移動図書館車のPRに努めた。
- ②BM書庫の配置換えを行ない、最近数ヶ月間に出版された図書の置場をまとめ、古い図書の中に埋もれないよう利用しやすくした。

9. 図書館協議会意見

意見

【全体】

- ①各館での活動が具体的に記され、スタッフが何に取り組み、どんな図書館を作っているかが見え、親しみもてる。各館ごとに高齢者、ヤングスタッフ、日野宿、実用書、館内案内という特色のある活動も評価したい。
- ②図書館ごとに施設等に特色があるので、図書館ウォークラリーなど企画したらどうだろうか。

【中央図書館】

- ①ヤングスタッフのメンバーによる活動とともに、展示が見事。高齢者向けの資料を積極的に購入、「セカンドライフの楽しみ方」をテーマに展示をおこなったことが素晴らしい。

【高幡図書館】

- ①図書企画展示、お薦めの図書リスト、作家別リストの発行など、素晴らしい企画だった。

【移動図書館】

- ①産業まつりへの参加など躍進的である。
- ②もっと車の台数を増やしてほしい。
- ③日野市立図書館の特色であり伝統ある移動図書館事業を継続発展させるために巡回経路と住民要求、地理的状況などの検討が必要ではないか。図書館の動く広告塔としての役割も果たせるのではないか。

人口15万人以上20万人未満の市立図書館(計173館)の数値と、日野市数値の比較

指標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
人口15万人以上20万人未満の市立図書館	人口(人)	図書館数(館)	専有延床面積(m ²)	専任職員数(人)	兼任+非常勤・臨時+委託・派遣(人)	蔵書冊数(冊)	経常費今年度予算(人件費を除く)(千円)	資料費今年度予算(千円)	受入図書購入総数(冊)	人口当資料費(円)	開館日数(日)
平均	174,397	4	5,374	17.7	45.4	499,645	169,572	41,254	21,737	239	288
上位10%平均	197,957	8	9,437	43.8	87.4	915,721	394,912	91,012	52,915	517	318
上位1/4	189,539	5	8,002	20.0	54.3	571,523	221,021	47,854	25,619	274	291
日野市	175,885	7	6,167	40.0	32.3	764,866	235,441	60,200	29,073	342	312

指標	12	13	14	15	16	17	18	21	22	23	24
人口15万人以上20万人未満の市立図書館	有効登録者数(人)	有効登録率(%)	専任司書率(%)	受入雑誌うち購入種数(種)	受入新聞うち購入種数(種)	蔵書更新率(%)	利用者端末数(台)	予約件数(件)	貸出点数(点)	人口当貸出点数(点)	蔵書回転率(%)
平均	41,389	23.4%	49.3%	332	35	2.8%	19	102,534	1,034,133	6.0	2.1
上位10%平均	102,732	59.0%	89.7%	860	83	9.1%	43	398,021	2,003,325	11.6	3.6
上位1/4	58,007	30.7%	66.7%	400	46	3.7%	27	129,861	1,326,376	7.1	2.4
日野市	39,915	22.7%	70.0%	1012	66	4.9%	28	460,444	1,721,482	9.8	2.2

凡例

- 1.人口15万人以上20万人未満の市立図書館の数値は、2009(平成22)年4月1日を基準としているが、日野市数値は2012(平成24)年4月1日を基準。
- 2.指標13「有効登録者数」は、個人貸出登録者で、新規登録者のみではない。
- 3.指標14「有効登録率」の日野市数値は、日野市民登録者÷日野市人口。
- 4.指標18「蔵書更新率」の日野市数値は、受入冊数÷蔵書冊数。
- 5.指標22「予約件数」は、雑誌・視聴覚資料も含む。
- 6.指標23「貸出点数」は、雑誌・視聴覚資料も含む個人貸出点数。
- 7.指標25「蔵書回転率」の日野市数値は、貸出点数÷蔵書点数(いずれも雑誌・視聴覚資料も含む)

出典：「評価指標人口段階別目標数値」(社団法人日本図書館協会「図書館評価プロジェクト中間報告」2011年5月)

日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

《図書館協議会委員名簿》

委員長	大杉 宏光	社会教育の関係者
副委員長	紺野 順子	学識経験者
委員	田中 ヒロ	社会教育の関係者
委員	阪田 幸子	学校教育の関係者
委員	中村 宏	学校教育の関係者
委員	赤川 千賀子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
委員	青木 笙子	公募による市民
委員	佐藤 恭子	公募による市民
委員	長谷川 俊彦	公募による市民

平成 24 年度 日野市立図書館の
運営の状況に関する評価書

(平成 23 年度事業)

くらしの中に図書館を

—市民に役立ち、共に歩む図書館—

平成 24 年 9 月

日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2

電話 042-586-0584